

## 生産の喜びと苦勞

田之浦小6年

ぼくのおじいちゃんは、お米を育てています。体調をくずして、今まで

のように田んぼで作業することが難しくなりました。そこで、ぼくたち家族は、おじいちゃんの手伝いをしました。

今回は田んぼ周りのあぜ道の草刈りです。専用の手押し式機械を使って作業します。「ウィーン、ジャキン、ジャキン」と音をたてます。とても重くて、子どものぼくににとっては、動かすのが精いっぱいです。

約2時間、作業していると、だんだん扱いに慣れてきました。全てのあ

ぜ道の草刈りが終わったころにはへとへとになりました。

ハンドルをにぎる手は赤くなり、握力もほとんど残っていませんでした。作業の後、おじいちゃんにはめられてうれしかったです。

いつも食べているごはんは、多くの人の苦勞があつて生産されていることを実感しました。これからは、感謝の気持ちをかみしめて、おいしくいただきたいです。

(志布志市)